

社会的属性はどこから生成されるか——昔話からの視点

Michalopoulos, Stelios and Melanie Meng Xue (2021) "Folklore," *Quarterly Journal of Economics*, Vol. 136, No. 4, pp. 1993-2046.

東京大学特任研究員 サムットプラディット・サイサワット

ジェンダー規範は、労働経済学において重要なテーマの1つである。女性の労働参加率に影響を与える1つの要因は、ジェンダー規範だと考えられる (Bertrand, Kamenica and Pan 2015)。それでは、ジェンダー規範はどこから生まれたのか？ 本稿で紹介する論文は、ジェンダー規範を含め、信頼性やリスク選好の社会的属性が昔から世々引き継がれると主張した。本論文は、Berezkin の昔話のカタログを用いて、現代社会における社会的属性との関係性を調べた。

Berezkin による昔話のカタログ

本論文は、Berezkin という人類学者による昔話のカタログを利用して、社会的属性の引き継ぎについて分析された。このカタログには、世界中の 958 の民族グループによる昔話が記録されている。さまざまな昔話の中で、内容に共通点がいくつか存在する。その共通点を「モチーフ」という。集められた昔話は 2564 のモチーフにまとめられた。

カタログの中で最も頻繁に登場するモチーフは、「主人公の義理家族が、主人公を殺そう／試そうとしてタスクを与えた」というのである。

このカタログの利点の1つとしては、各モチーフに道徳的な解釈が入っていないことである。Berezkin のカタログの目的は、ある民族の口頭伝承の記録に過ぎず、道徳に関する抽象的な解釈が記されない。

モチーフの分類

本論文は、機械学習と人力によって、昔話からのモチーフの内容を経済学的な意思決定に影響を与える社会的属性に合わせてモチーフを分類した。本論文で扱っている例の社会的属性は、信頼性、リスクに対する態度、ジェンダー規範の3つがあげられた。

まず、機械学習によるテキスト分類手法を用い、社

会的属性に関係するモチーフを絞り込んだ。例えば、信頼性についての分析では、「騙す」に隣接する単語を記載するモチーフを選び出した。

しかし、昔話が暗示している価値観は複雑で人間によるより深い解釈が必要であるため、複数人のアルバイトも雇った。例えば、ジェンダー規範に関する分析では、アルバイトの人にモチーフの内容の同じ箇所を読ませる。登場人物が固定観念通りに動いているかをアルバイトの人に投票してもらい、最も投票数が多い方を採用する。

本稿では、ジェンダー規範を中心に、本論文の分析結果を紹介する。

昔話から読まれるジェンダー規範

本論文は、2つの角度からジェンダー規範を考えた。1つ目は、「男性が支配的」というバイアスである。このバイアスを持つ人が考える男性は、女性より乱暴で活発である。2つ目は、「男性の方の方が知的」というバイアスである。このバイアスを持つ人が考える男性は、女性より賢い。

この2つの角度から、国レベルの昔話の男性バイアス指数が作成された。男性バイアス指数は、男性の登場人物が男性の固定観念的な行動をとる確率と、女性の登場人物が女性の固定観念的な行動をとる確率の差と定義された。その指数が大きいほど、その国の男性バイアスが強いという。昔話によって計算された男性バイアス指数が高い国の1つは、アフガニスタンが挙げられる。それに対して、フィリピンは男性バイアスの小さい国の1つである。

まず、国レベルの分析が述べられた。各国の昔話における男性バイアスと 2019 年における女性の労働参加率の相関の結果、「男性が支配的」という男性バイアスが大きいほど、女性の労働参加率が小さいことが

分かった。一方、「男性が知的」という男性バイアスは、女性の労働参加率にあまり有意な相関が観察されなかった。

次に、昔話からの男性バイアスがどのように引き継がれるか、本論文では European Social Survey を利用して分析された。欧州にいる移民第二世代のサンプルに絞り込まれ、子供が親から社会的属性を引き継ぐことが可能であるか調べられた。結果として、両親の出身地の男性バイアスが大きいほど、子供が専業主婦になりがちで、性別に関する偏見を持つ傾向があることが分かった。

昔話から読まれる信頼性とリスク選好

ジェンダー規範の他、本論文では信頼性やリスク選好についても述べられた。経済的信頼性が高いほど、国が豊かであると考えられる。また、社会がリスク愛好的になるほど、起業活動が盛んであるという。

次に、昔話からどのように信頼性の指数を計るかについて述べる。昔話に登場する詐欺師が罰せられたか、MTurk のアルバイトの人にモチーフの内容を読ませて、判断の投票をしてもらった。例えば、あるモチーフは、「主人公が異世界にいる強力な女性と出会い、人間の世界に戻った。偽物が主人公の功績を自分のものと出張した。その女性が主人公を探しにきて、偽物を罰する」という。全てのアルバイトはこのモチーフに対して、詐欺師が罰されたと判断した。昔話による信頼性の指数と現代の社会的属性の相関を調べたら、昔話の詐欺師が罰される頻度が多ければ多いほど、現代社会における信頼性の指数が高く、2008年における夜間照明の指数も高いことが分かった。

同様に、リスク選好についても、登場人物がチャレンジを与えられたときに、困難を乗り越えられたか、アルバイトの人に判断してもらった。昔話によるリスク選好の指数と現代の社会的属性の相関について調べた結果、昔話の主人公が困難を乗り越えることが多いほど、現代のリスク選好の指数が高いことが分かった。また、昔話によるリスク選好の指数が高ければ高いほど、2006～2018年における国の人口当たりの特許の数も大きくなることが観察された。また、移民第二世代の分析では、両親の出身地の昔話において主人公が困難を乗り越えられることが多ければ多いほど、

移民第二世代が自営業をする確率が高くなることが分かった。

Berezkin のカタログを利用する際の注意点

本論文は、昔からの物語が現代社会に影響すると主張してきたが、Berezkin のカタログを使用する際に、次の注意点があげられる。

1. 昔話がいつ現れたかカタログでは不明である。
2. Berezkin のカタログにあるモチーフは、2つ以上の民族の物語に現れたモチーフに限られた。
3. Berezkin のカタログは、あるモチーフが存在するか否かの記録に過ぎず、人気度が不明である。
4. カタログにある民族は、使用言語によって分類され、カタログから捉える国は、必ずしも現代の国家と一致しない。
5. 各民族の物語の数は、その民族がどれだけ民俗学者に研究されていたかによる。
6. 初代の民俗学者は、宣教師が多かったが、後代は人類学者が多かったため、記録された物語は収集する人の関心に依存し、時代によって異なる可能性がある。

最後に

本論文では、物語がどのように現代社会の価値観に影響するかを調べられた。昔話は、昔から引き継がれたものであり、現代の価値観に影響されないと考えられているため、因果関係がよりはっきりできるのではないかと考えられた。物語が価値観を左右できるとしたら、社会的属性に変化をもたらすため、物語の面から介入ができるのではないと思われる。

参考文献

Bertrand, Marianne, Emir Kamenica and Jessica Pan (2015) "Gender Identity and Relative Income within Households," *Quarterly Journal of Economics*, Vol. 130, No. 2, pp. 571-614.

Samutpradit Saisawat 東京大学政策評価研究教育センター特任研究員。最近の主な論文に "Employment Effects of Minimum Wages in a Dual Economy: Evidence from Thailand," (単著・未刊)。労働経済学・開発経済学専攻。